

統計リテラシー向上への取組について ～統計調査へ協力することの大切さの醸成に向けて～

データサイエンス力が身に付く
統計教育に役立つ教材開発と情報提供

総務省統計局統計利用推進課 市川 宏



本日より紹介すること

1. 統計行政における統計教育について

- ・ 統計行政が目指すもの
- ・ 統計教育をめぐる動き

2. 教材開発について

- ・ 「高校からの統計・データサイエンス活用～上級偏～」(平成29年3月)
- ・ 「生徒のための統計活用～基礎編～」(平成28年5月)

3. 教育現場で役立つ情報

- ・ 指導者講習会の開催
- ・ 統計局ホームページからの統計データの利活用
- ・ 子どもプログラミング教室、全国統計大会、統計グラフ全国コンクール、統計資料館など各種イベントの実施

1. 統計行政における統計教育について(1)

・ 統計教育が目指すもの

- 戦後、日本の統計機構の再建の一環の中で、文部科学省、総務庁(旧行政管理庁)、教育委員会が協力して、統計教育を推進
- 昭和22年、新潟県の小学校に「統計協力校」が設置されて以来、47都道府県すべてに「統計教育研究校」が指定され発展
- 学校において、統計への感心を育成し、統計調査へ協力することの大切さの醸成
我が国の統計全体としての進歩を遂げる

1. 統計行政における統計教育について(2)

・統計教育が目指すもの

統計行政とは・・・

① 統計の作成

国家運営の基盤情報である公的統計の体系的・効率的整備に資するよう日本の統計の改善・進展を進める
(例えば、国勢調査、経済センサス、工業センサス、農林業センサスなど)

② 統計データを活かす

行政運営や国民の諸活動の基礎となる情報として統計の提供を推進し、経済の発展と国民生活の向上に寄与

具体的な推進は・・・

① 統計法 (平成19年法律第53号)

② 公的統計の整備に関する基本的な計画 (平成26年3月25日 閣議決定)

(平成26年度～30年度の5カ年計画、以下「基本計画」という。)

1.統計行政における統計教育について(3)

・統計教育をめぐる動き

基本計画の目指す方向性・・・

第1 施策展開に当たっての基本的な視点及び方針

統計相互の整合性の確保・向上、国際比較 等

第2 公的統計の整備に関する事項

経済関連統計の整備、分野別経済統計の整備 等

第3 公的統計の整備に必要な事項

統計作成の効率化及び報告者の負担軽減、統計調査環境の改善
(統計リテラシー等の向上) 等

第4 基本計画の推進

施策の効果的かつ効率的な実施 等

1.統計行政における統計教育について(4)

・統計教育をめぐる動き

「基本計画」で求められている統計リテラシーの向上

＜具体的な措置、方策等＞

文部科学省の協力を得つつ、学会や教育関係者等と連携し、教員等の研修参加者が児童・生徒の統計リテラシーを高めるための実践方法を習得できるよう研修内容の充実を図るとともに、地方において研修を開催するなど、研修参加機会を拡大する。

また、学会や教育関係団体等と連携し、カリキュラム及び副教材を開発・作成する。

さらに、上記の研修やカリキュラム及び副教材を活用し、ワークショップ型の授業の導入を促進するための支援を行う。

担当府省：総務省、 実施時期：平成26年度から順次実施

2. 教材開発について（1）

総務省が高校生向け教材を開発（生徒用と指導用）
（平成29年3月刊行）

スタッツ・フォー・スクール 大学での学びにつながる

統計で身近な現象や社会の課題を探求するスタディガイド

高校からの 統計・データサイエンス活用～上級編～

統計的思考力を身に着けよう！

昨年開発した中学生以上を対象とした「生徒のための統計活用～基礎編～」に続く上級編として開発。基礎編と同様、統計の重要性を理解させるとともに、統計調査に協力することの大切さと統計的探究プロセスの考え方と手順への理解が一層深まる。

教材は全国各地でもご覧になれます

都道府県統計主管課及び都道府県教育委員会、主な公立図書館
総務省統計図書館(東京都新宿区若松町)

高校からの 統計・データサイエンス活用～上級編～ 目次(1)

第1部 統計的探究のプロセス

- 1 いま、求められる”統計・データサイエンス力”とは？
- 2 課題発見と問題解決のフレーム：PPDACメソッドの活用
- 3 高校生の事例で学ぶ PPDAC メソッドの活用
- 4 周囲を説得！ できる分析レポートの構成

第2部 統計的探究の実践Ⅰ ～データから有用な情報を引き出す

- 1 夏の避暑地の気候の特徴～夏の避暑地が快適な理由は？ [データの整理]
- 2 地域の豊かさの格差は拡大しているか？ [特性値の活用]
- 3 サービス経済化の状況とその背景を探る [関係の度合]
- 4 都市の平均気温と緯度はどんな関係？ [散布図・相関分析による問題解決]
 - ◇ 閑話休題 [母集団と標本]
 - ◇ 記述統計から推測統計へ

第3部 統計的探究の実践Ⅱ ～不確実な事象を理解する～

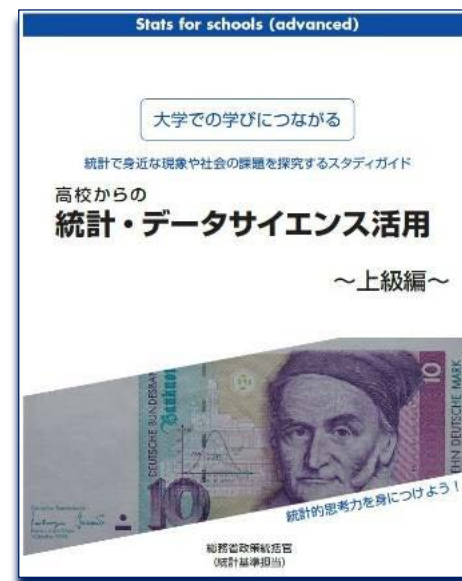
- 1 途中で中断したゲームの勝敗の帰趨は？ [確率の概念]
- 2 保険料をどのように決める？ [確率の応用]
- 3 確率の意味するもの [確からしさの実践]

第4部 統計的探究の実践Ⅲ ～モデルに基づいて現象を理解する～

- 1 視聴率調査の仕組みは？ [視聴率データの分布は正規分布で近似できる]
- 2 日本では航空交通が一番安全！？ [めったに起きない事象の分布はポアソン分布で近似できる]
- 3 二項分布を利用した問題解決 [データに基づく仮説の検討方法ー背理法の拡張]

第5部 統計的探究の実践Ⅳ ～標本データから全体を推測する～

- 1 どの味のラーメンが好まれるだろうか？ [標本誤差の評価]
- 2 フライドポテトの重量は公表値と同じ？ [区間推定]
- 3 フライドポテトの重量は公表値通りか？ [統計的検定]



高校からの 統計・データサイエンス活用～上級編～ 目次(2)

第6部 地域の課題解決と統計活用

- 1 米産地新潟のブランドをいかに維持するか！
- 2 AEDで救える命を増やそう
- 3 人口減少社会に向かう地域の課題と取り組み

第7部 統計的思考によって大学入試・統計検定を乗り切ろう！

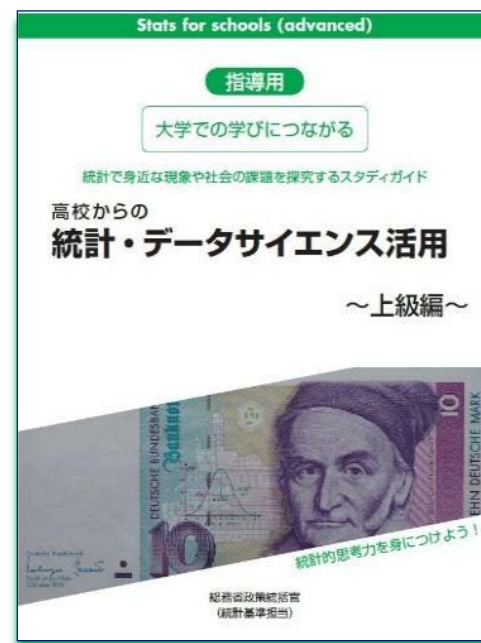
- 1 「数学Ⅰ」: データの分析の問題から見る統計的思考力
- 2 「数学Ⅱ」: 確率分布と統計的な推測の問題から見る統計的思考力
- 3 「大学」: 統計学の問題から見る統計的思考力

第8部 公的統計を通してセカイを見る！

- 1 日本の国土と気象
- 2 世界の人口とこれから
- 3 統計地図で見る日本の地域特性
- 4 関心を高める雇用・賃金・物価
- 5 統計データに表れる日本の歳時記

第9部 公的統計の有用性を知り、統計調査の重要性を学ぶ

- I 大量で多様なデータを駆使するビッグデータ時代を生き抜く！
 - 1 「統計」の重要性を知り、データサイエンスを身に付ける
 - 2 いつでも、どこでも、すぐに入手できる統計データの正しい活用を知る
- II 住みよい街づくりは統計調査への協力から～労働力調査を具体例として～
 - 1 就業者と失業者を把握することの重要性の高まり
 - 2 一部を調査することにより日本全体の現状を推計する
 - 3 調査の方法とICTを活用した調査方法へ
 - 4 回収された調査票から結果の集計、公表まで
 - 5 統計データから得られる情報



2. 教材開発について(2)

総務省が新たな中学生以上向け教材を開発 (生徒用と指導用)
(平成28年5月刊行)

スタッツ・フォー・スクール

統計で身近な現象や社会の課題を探求する学習ワークシート

生徒のための統計活用～基礎編～

数理の探究メガネで見てみよう！

統計の重要性を理解させるとともに、統計調査に協力することの大切さの理解を深め、統計データに基づく問題解決能力を育成するため、統計教育の現場において第一線で活躍されている方々のご協力を得て教材を開発しました。

教材は全国各地でも、総務省ホームページでもご覧になれます

都道府県統計主管課及び都道府県教育委員会、主な公立図書館、総務省統計図書館(東京都新宿区若松町)、総務省ホームページ(URL: <http://www.stat.go.jp/>)

生徒のための統計活用～基礎編～ 目次

具体的な内容は・・・

- 身近な統計資料の活用の仕方や統計的な探究プロセスの考え方を優しい事例で学習
- 事例はP(問題意識)、P(調査・実験研究のデザイン)、D(データ収集)、A(データ分析)、C(結論)サイクルで構成

➤ 第1部 統計的探究プロセスの考え方

「統計の役割とは」、「統計的な探究プロセス(PPDACサイクル)」について

➤ 第2部 統計的探究を実践してみよう

「都道府県の人口」、「中学生の運動能力」の分析

➤ 第3部 統計的探究プロセスを身近なものにしよう

「世界遺産 富士山」、「携帯電話との付き合い方」の分析

➤ 第4部 さまざまな統計データをいかに活用するか

「生活時間」、「進路計画」の分析

➤ 第5部 統計をさらに知る

「統計でみえるセカイ」、「e-Statの活用」、「統計調査への協力の大切さ」について

3.教育現場で役立つ情報(1)

統計リテラシー向上への主な取組一覧

	総務省	都道府県
教育現場での活用できる情報提供	【統計指導者講習会の実施】 ・統計指導者講習会(中央研修) ・ブロック別統計指導者講習会(6BLK) 【副教材の開発】 ・生徒のための統計活用 (児童・指導用 平成28年5月刊行) ・高校生向け教材開発(平成29年3月刊行) 【統計学習サイトの開設】 ・小中学生から統計に親しむ 「なるほど統計学園」、「ダッシュボード」 ・高校生の統計分析力向上のために 「なるほど統計学園高等部」 【統計資料館】 ・統計の歴史から統計の大切さを感じる 【子どもプログラミング教室の開催】 ・児童を対象とした統計教育(地方都市開催)	・統計指導者講習会 平成29年度実績 青森、福井、岐阜、大阪、 和歌山、徳島、宮崎、沖縄、 総務省統計研究研修所・滋賀大学 ・都道府県における取組 総務省統計局ホームページに おいて取組一覧を掲載
統計リテラシーの成果発表のステージ	【プレゼンテーション】 ・統計グラフ全国コンクールの実施 ・全国統計大会(統計・データサイエンス活用セミナー)でグラフコンクール大臣賞作品のプレゼンテーション	・統計グラフコンクールの実施 ・都道府県統計大会において、統計教育に係る実践事例を紹介

3.教育現場で役立つ情報(2)

平成29年度 統計指導者講習会 実績（例年7月下旬 東京で開催）

1. 研修名

平成29年度 統計指導者講習会 ～教育現場で役立つ教材と実践活用事例～

2. 目的

児童・生徒の統計指導者に携わる教師等を対象として、統計への理解を深め、統計指導の充実に資することにより、児童生徒の統計に対する理解を推進するとともに、国民の統計調査への協力意識の醸成を図ることを目的とする。

3. 主催

文部科学省の協力を得て総務省政策統括官（統計基準担当）が主催

4. 日時

平成29年7月31日(月)～8月1日(火)

5. 場所

総務省第二庁舎7階大会議室（東京都新宿区）

6. 参集者

全国の小学校・中学校、高等学校の教諭、教育委員会の教育主事等 73名

3.教育現場で役立つ情報(3)

7. カリキュラム

○基調講演：統計教育で目指すもの

文部科学省初等中等教育局視学官 長尾 篤志 氏

○統計教育の開発教材：「生徒のための統計活用～基礎編～」及び「高校からの統計・データサイエンス活用～上級編～」の紹介

慶應義塾大学大学院教授 渡辺 美智子氏

○統計教育の実践事例①：奈良県の統計リテラシー向上の取り組み

奈良県総務部知事公室統計課長 田中 利亨 氏

○統計教育の実践事例②：茨城県における統計教育の実践事例

茨城県企画部統計課普及情報グループ係長 吉澤 知丈氏

○授業での具体的活用事例研究：班別討議、結果のまとめ

○教育現場での実践事例：

①統計教育で特別支援教育！ 妙高市立荒井小学校教諭 小川 恭子氏

②荒川区立第三中学校における統計教育の取組について

東京都荒川区立第三中学校教諭 西川 慶介氏

3.教育現場で役立つ情報(4)

平成28年度統計指導者講習会参加状況（73名）

小学校教諭(28名)		中学校教諭(26名)		高校教諭(8名)		教育委員会等(11名)	
算 数	11名	数 学	15名	数 学	7名	数 学	7名
全教科	10名	社 会	7名	社 会	1名	社 会	2名
社 会	4名	保 健	2名			国 語	1名
理 科	1名	理 科	1名			英 語	1名
図 工	1名	家庭科	1名				
体 育	1名						

これまでの参加状況

年度	21年度	22	23	24	25	26	27	28
参加人数	76	81	79	83	74	76	81	73

3.教育現場で役立つ情報(5)

統計学習サイトの作成・運営（統計局HP）

- なるほど統計学園
- なるほど統計学園高等部
- 統計学習指導のために（先生向け）



なるほど統計学園

検索

（社会人への取組）

- ・ データサイエンス・スクール
- ・ データサイエンス・オンライン講座



統計学習サイト

「なるほど統計学園」(小中学生向け)

「なるほど統計学園 高等部」(高校生向け)



【主なコンテンツ】

- 160種類以上の各種統計データを使いやすい形で提供
- 自由研究のテーマの見つけ方や楽しみながら統計を学べるクイズ 等

【主なコンテンツ】

- 統計を使った問題の発見から解決までの手法の解説、関連する練習問題を掲載
- 統計分析から導き出される興味深いトピックスを解説 等

データの探し方 ～なるほど統計学園～

探す・使う・作る

探してみよう統計データ

- こんなことが分かるよ
- 分野別にみる
- 都道府県別に知る
- 他の国と比べる

作ってみよう統計グラフ

統計をグラフにあらわそう (種類と特徴)

自由研究お助け隊

- マンガで見る自由研究
- 詳しくわかる・自由研究の進め方
- 統計調査の結果を使った例

統計グラフコンクール

チャレンジ! e-Stat

探してみよう統計データ

統計ってたくさんあるよね。ここでは、知りたいことからでも、調べたい分野からでも、統計データを探せるんだ。都道府県で比べたり、世界の国々と比較できるデータもあるよ。グラフで見ることできるし、ダウンロードだってOK。「国勢の統計表」を見ればもっと詳しくいことがわかってしまう。さあ、さっそくやってみよう。

※国勢のデータが5年ごとに発表されているグラフや表でも、「国勢の統計表」で国勢調査年間のデータの集計できる機能がありますので、それらにもご注意ください。



こんなことが分かるよ

分野別にみる

都道府県別に知る

他の国と比べる

統計用語辞典

一覧

1. 国と自然

2. 人口

3. はたらく人

4. 国の経済

5. 会社の姿

6. 農林水産業

7. 製造業

8. エネルギー・水

9. 乗り物と道路

10. 食料品や衣料品の販売額の変化

11. 貿易・国際協力

12. 税金の徴収

13. 国の収入と支出

14. 物や土地の値段

15. 家の資金

16. 社会



統計調査みち案内

統計調査みち案内

主要統計公表 日程案内

どんなデータがあるの?

人口・世帯

- Q1. 日本の人口が知りたい
- Q2. 少子高齢化について知りたい
- Q3. 日本の世帯数が知りたい
- Q4. 一人暮らしの数が知りたい
- Q5. 未婚の割合が知りたい

事業所・企業

- Q1. 日本の事業所数と従業員数が知りたい
- Q2. 日本の企業数が知りたい
- Q3. 個人企業の数が知りたい
- Q4. サービス産業について知りたい
- Q5. 企業の研究費が知りたい
- Q6. 都道府県ごとの売上高が知りたい
- Q7. 産業ごとの売上高が知りたい

科学技術

- Q1. 日本の研究費が知りたい
- Q2. 日本の研究者数が知りたい

労働

- Q1. 完全失業者数と完全失業率が知りたい
- Q2. 就業者数(有業者数)が知りたい
- Q3. パート・アルバイトの人数が知りたい
- Q4. 派遣労働者の数が知りたい

家計

- Q1. 世帯における1カ月間の収入が知りたい

A 5年ごとに実施している国勢調査全国・都道府県・市区町村ごとに、男女、年齢(各歳)別、職業別などに調べることができます。ユーザーズガイドでは国勢調査の見かたや時系列で人口の推移を調べることができます。また、国勢調査が行われない年の人口は人口推計から調べることができます。

- ▶ 国勢調査 結果へ
- ▶ 人口推計 結果へ



データの探し方 ～なるほど統計学園～

なるほど統計学園

統計系ホームページ サイトの手書き方 ご意見・ご感想 リンク集

探す・使う・作る 学ぶ・知る **楽しむ** 遊ぶ 放課後

現在の位置：なるほど統計学園 > 楽しむ > あなたの地元が日本一 > 愛媛県・松山市

楽しむ

- 学園のヒトビトから
- おもしろ統計分析
- あなたの地元が日本一！**
- 比べてみよう！世界と日本
 - インターネット
 - 旅行
 - 車
 - 映画
 - 出生率
- 今日は何の日？
- 統計がない国は大幅ざ
 - 1.どこがいかに学校やお店
 - 2.血縁のないテレビ〜ライバルを打ち食かせ！
 - 3.新しい車の開発〜西は東から？車のおかき？
 - 4.野球対決〜強いチームの作り方
 - 5.みんなの代表〜公平に選ぶために
 - 6.政策はどう決める〜「カン」より「証」、 「確」より「証計」
 - 7.「もしも」のために〜保険はギャンブル？

あなたの地元が日本一！

愛媛県（えひめけん）

イヨカン（伊予柑）の収穫量（平成26年度）

順位	都道府県	単位：t
1位	愛媛県	32,821.5
2位	和歌山県	1,081.0
3位	佐賀県	797.6
4位	山口県	441.1
5位	静岡県	250.9
	全国	36,512.5

出典：「和歌山県生産統計等調査結果」（和歌山県庁）

まだいの収穫量（海面養殖業）（平成27年）

順位	都道府県	単位：t
1位	愛媛県	34,208
2位	熊本県	10,420
3位	三重県	5,530
4位	高知県	4,890
5位	長崎県	2,858
	全国	63,605

出典：「漁業・養殖業生産統計」（農林水産省）

タオル（ハンカチーフを除く）の出荷額（従業員4人以上の事業所）（平成24年）

順位	都道府県	単位：百万円
1位	愛媛県	20,136
2位	大宮県	11,879
3位	群馬県	899
4位	福岡県	637
5位	静岡県	603
	全国	36,737

出典：「経済センサス・活動調査結果」（総務省統計局・経済産業省）

道路交通法違反検挙件数（人口千人当たり）（少ない順）（平成26年）

順位	都道府県	単位：-
1位	愛媛県	21.3
2位	三重県	26.9
3位	新潟県	27.0
4位	栃木県	32.6
5位	福岡県	32.8
	全国	55.4

出典：「統計でみる都道府県の4がた2017」（総務省統計局）（総務省統計局）

あなたの地元が日本一

松山市（まつやまし）

他の柑橘類の購入数量（みかん・グレープフルーツ・オレンジを除く）

順位	市	単位：g
1位	松山市	15,726
2位	高知市	14,517
3位	高松市	10,327
4位	高松市	9,066
5位	大分市	8,022
	全国	4,858

出典：「県統計調査結果（二人以上の世帯：平成26～28年平均1世帯当たり年間の支出金額及び購入数量）」（総務省統計局）

航空運賃の支出金額

順位	市	単位：円
1位	松山市	18,065
2位	東京都港区	14,155
3位	福岡市	13,941
4位	高知市	12,987
5位	川崎市	12,834
	全国	5,472

出典：「県統計調査結果（二人以上の世帯）品目別データ（平成28年計）」（総務省統計局）

他の学習用消耗品の支出金額

順位	市	単位：円
1位	松山市	829
2位	川崎市	799
3位	大津市	770
4位	千葉市	762
5位	水戸市	719
	全国	592

出典：「県統計調査結果（二人以上の世帯）品目別データ（平成28年計）」（総務省統計局）

他の貝の支出金額（しじみ・かき・はたてを除く）

順位	市	単位：円
1位	松山市	1,131
2位	金沢市	907
3位	平野市	806
4位	福岡市	709
5位	札幌市	696
	全国	450

出典：「県統計調査結果（二人以上の世帯：平成26～28年平均1世帯当たり年間の支出金額及び購入数量）」（総務省統計局）

統計データの簡易な利活用を実現するため、月例経済報告などで取り上げられている主な統計データを中心に、グラフなどに加工して視覚的に分かりやすく提供するWebサイト

<https://dashboard.e-stat.go.jp/>



公的統計を見える化、簡単な操作で利用可能

- ・簡単な操作で利用者のニーズに応じたグラフの加工が可能
- ・専門的知識を持たないライトユーザーでも利用可能

地域別や時系列での比較が可能

- ・全国のデータのみならず、都道府県別の比較及び時系列変化も幅広く見える化

利用者のニーズに対応

- ・分野ごとに利用者のニーズの高いデータを優先的に表示

期待される活用例

<自治体での活用>

自治体の現状及び時系列変化の分析が容易になるとともに、全国や他地域のデータと比較した分析が可能

<民間での活用>

オープン化された公的データを地域やビジネスの視点から活用し新たなアイデアを創出

<教育現場での活用>

公的データを用いた分析事例の紹介や演習等、より実践的な授業の実施

統計ダッシュボードの提供内容



約5000の統計データを17分野に整理して収録し、55のグラフを掲載

分野	統計データ	グラフタイトル
国土・気象	総面積、森林面積、自然公園面積 など	－
人口・世帯	総人口、出生数、出入国者数 など	人口、出生・死亡、出入国者、世帯数、一般世帯数
労働・賃金	就業者数、完全失業率、現金給与総額 など	労働者、正規・非正規の職員・従業員、失業率と求人倍率、給与、総実労働時間、賃金指数、過去1年間の就業異動
農林水産業	農業産出額、農家数、耕地面積、漁獲量 など	－
鉱工業	鉱工業生産指数、製造工業稼働率指数、工業用水量 など	鉱工業、製造工業生産能力指数
商業・サービス業	サービス産業売上高、小売業販売額 など	3次産業、サービス産業の売上高、サービス産業の事業従事者数、小売業販売額
企業・家計・経済	企業倒産件数、消費者物価指数、消費支出、国内総生産 など	機械受注、企業倒産、個人企業、金融市場、株価、為替相場、マネーストック、国内企業物価と輸出入物価、消費者物価指数、消費者物価地域差指数、景気動向、消費支出、家計消費指数、世帯収入、平均消費性向、国内総生産（円表示）、国内総生産（米ドル表示）、GDPデフレーター、県民経済計算、事業所数、従業者数、貯蓄・負債、耐久消費財所有数量
住宅・土地・建設	新設住宅着工戸数、公共工事受注額、住宅数、1住宅当たり延べ面積 など	住宅着工、工事受注額、住宅数
エネルギー・水	電灯使用電力量、ガソリン販売量、上水道給水人口 など	－
運輸・観光	新車販売台数、輸送人員、道路平均交通量、延べ宿泊者数、客室稼働率 など	新車販売台数、延べ宿泊者数
情報通信・科学技術	電話加入数、テレビ放送受信契約数 など	－
教育・文化・スポーツ・生活	小学校数、幼稚園在園者数、重要文化財指定件数、スポーツ行動者率、睡眠の平均時間 など	学校数、生徒数、未就学児施設、生活時間
行財政	行政投資総額、納税義務者数、衆議院議員選挙投票率 など	－
司法・安全・環境	弁護士数、刑法犯認知件数、救急出動件数、ごみ総排出量 など	－
社会保障・衛生	後期高齢者医療費、介護老人福祉施設数、病院数、医療施設医師数 など	医療施設数、医療従事者数
国際	経常収支、金融収支 など	国際収支（円表示）、国際収支（米ドル表示）
その他	雇用力、稼ぐ力	地域の産業・雇用創造チャート

「e-Stat」政府統計の総合窓口について

「政府統計の総合窓口(e-Stat)」により、各府省の統計を一元的・総合的に提供

The screenshot shows the e-Stat website header with the logo, navigation links, and a search bar. A green callout box is overlaid on the left side, containing the following text:

登録されている統計データ
※平成29年12月末現在

- ・統計表 (Excel、CSV等) 政府統計573統計、約73万表
- ・統計情報データベース (XML) 基幹統計等105統計で約11万表

Below the callout box, there is a small text block: 基幹統計とは、統計法により定められた、行政機関が作成する重要な統計

The background interface includes the following elements:

- Header: e-Stat 政府統計の総合窓口, 統計で見る日本, お問い合わせ | ヘルプ | English, Search bar with 検索 button.
- Navigation bar: 統計データを探す, 地図で見る, 統計分類・調査項目, その他.
- Main content area: 統計データを探す (with bar chart icon), ファイルから探す, 地域から探す, 検索 button.
- Right sidebar: 統計GIS, API機能, 統計LOD, 統計ダッシュボード, マイページ, ログイン button.

e-Statの主な機能

e-Stat
政府統計の総合窓口

統計で見る日本

e-Statは、日本の統計が閲覧できる政府統計ポータルサイトです

お問い合わせ | ヘルプ | English



検索

統計データを探す

地図で見る

統計分類・調査項目

その他

統計データを探す



データベースから探す



ファイルから探す



分野から探す



組織から探す



地域から探す

統計GIS

API機能

統計LOD

○統計表のダウンロード
各府省の統計表をExcel、CSV、PDF等でダウンロード可能

○統計情報データベース
必要な項目だけを任意に指定してダウンロードしたり、グラフを作成する



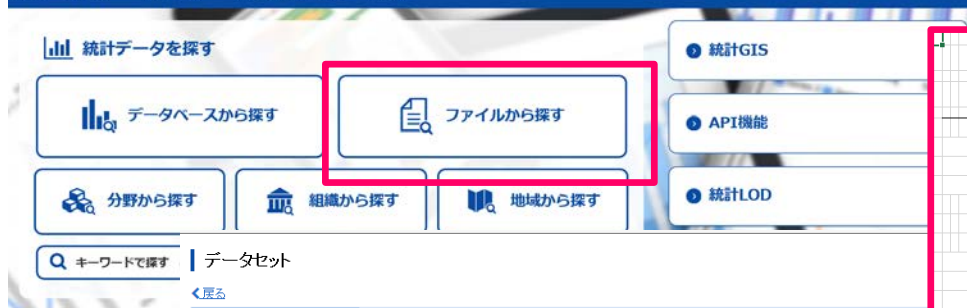
○境界データ等のダウンロード
地図ソフトに用いる境界データ等をダウンロード可能

○地図で見る統計
(jSTAT MAP)
都道府県、市区町村、小地域それぞれの単位の統計データを地図で表す

○調査票等の閲覧
統計調査の調査項目などを詳しく調べることが可能

e-Statの主な機能～①統計表のダウンロード

- 政府が作成・公表する統計表をスプレッドシート（Excel等）又はCSV形式ファイルでダウンロードすることが可能



政府統計名	経済センサス基礎調査
提供統計名	平成26年経済センサス基礎調査
提供分類1	事業所に関する集計
提供分類2	全国結果

表番号	統計表	調査年月	公開(更新)日
1	経営組織(5区分)別全事業所数、男女別従業員数及び1km2当たり事業所数及び従業員数-全国、都道府県、市区町村、大都市圏	2014年7月	2015-11-30
	(1) 全国、都道府県、大都市圏	2014年7月	2015-11-30
	(2) 都道府県、市区町村	2014年7月	2015-11-30
2	産業(小分類)、経営組織(5区分)別全事業所数、男女別従業員数及び1事業所当たり従業員数-全国、都道府県	2014年7月	2015-11-30
3-1	産業(小分類)、経営組織(2区分)別全事業所数及び従業員上の地位(6区分)、男女別従業員数-全国	2014年7月	2015-11-30
4	産業(中分類)、経営組織(11区分)別全事業所数及び従業員上の地位(6区分)、男女別従業員数-全国、都道府県、大都市		
	(1) 総数～法人でない団体	2014年7月	2015-11-30
	(2) 国、地方公共団体～一部事務組合等	2014年7月	2015-11-30
5	産業(中分類)、従業員規模(13区分)、経営組織(5区分)別全事業所数、男女別従業員数、常雇用者数及び1事業所当たり従業員数-全国	2014年7月	2015-11-30

第 1 表 経営組織 (5 区					
Table 1 Establishments, Persons Engaged by Sex and					
総 数					
事業所数 (事業内容等 不詳を含む)		事業所数		従業員数 (注)	
(a)		Number of establishments		Number of persons engaged	
全国	Japan	5,926,804	5,689,366	61,788,853	
01 北海道	Hokkaido	252,036	242,707	2,445,372	
02 青森県	Aomori-ken	82,983	82,055	575,797	
03 岩手県	Iwate-ken	83,093	82,050	595,288	
04 宮城県	Miyagi-ken	106,438	102,472	1,100,880	
05 秋田県	Akita-ken	53,533	52,894	465,227	
06 山形県	Yamagata-ken	80,110	59,333	530,727	
07 福島県	Fukushima-ken	93,239	91,259	873,753	
08 茨城県	Ibaraki-ken	125,804	122,835	1,321,449	
09 栃木県	Tochigi-ken	93,428	91,234	931,021	

e-Statの主な機能～②統計情報データベース

- 必要な項目を任意に指定し、
- 行列を並び替えたり、グラフを作成することが可能

統計表示 | **グラフ表示**

表示項目選択 ?

初期状態は全項目表示状態です。表示を変更するには、以下の手順で設定を変更してください。

- 「選択/全項目」の「999」/999を押して表示項目を設定してください。
- 表示を更新** ボタンを押すと変更内容の表示が更新されます。

解説表示

項番	事項名	選択/全項目 ?
1/7	表章項目	1 / 1
2/7	全域・人口集中地区(2015)	2 / 2
3/7	年齢_2015	150 / 150
4/7	男女別_2015	3 / 3
5/7	国籍_2015	2 / 2
6/7	地域(2015)	196 / 196
7/7	時間軸(年/次)	1 / 1

キャンセル **表示を更新** **初期状態に戻す(全項目表示)**

表示項目選択

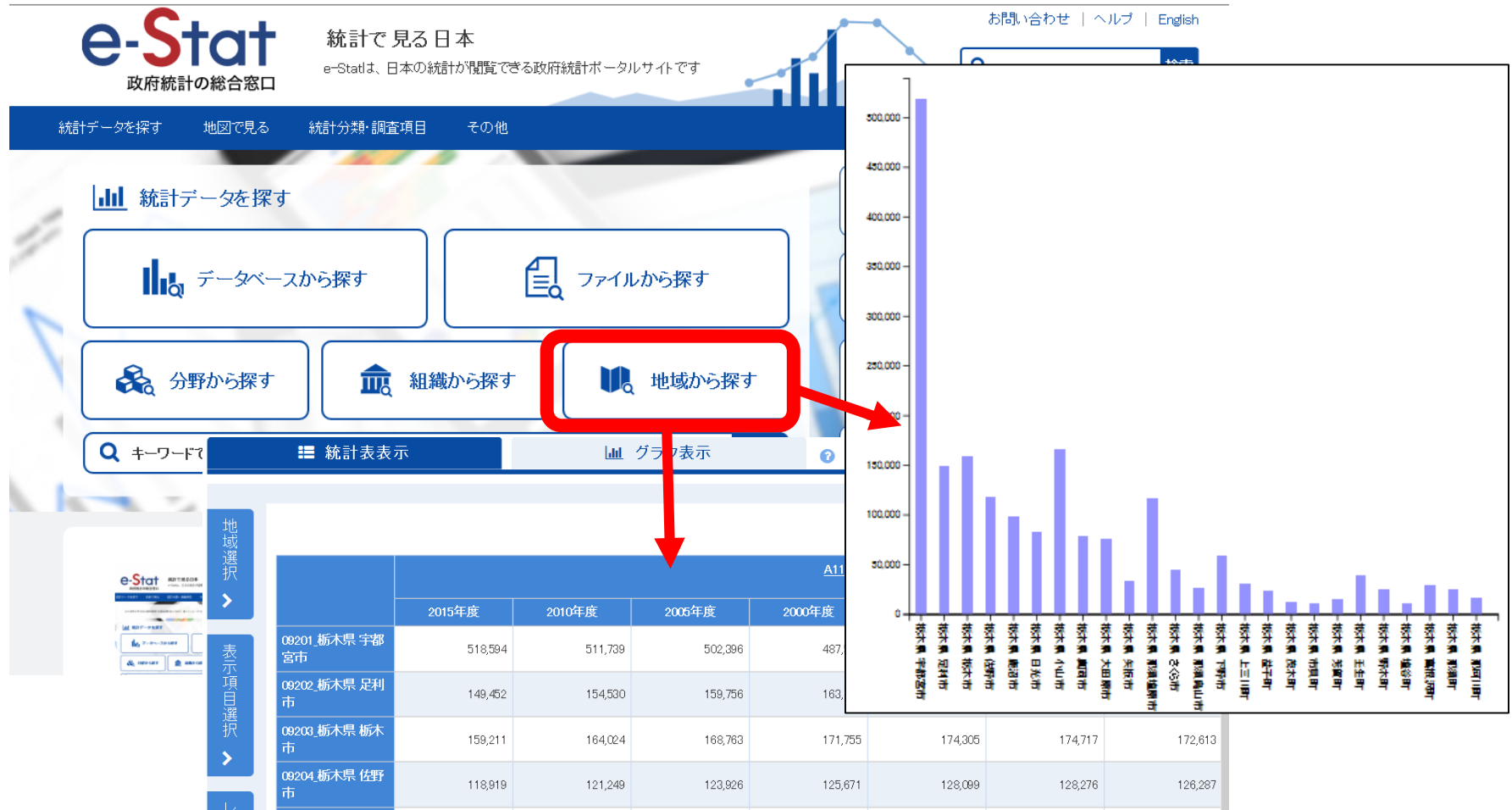
レイアウト設定

一覧形式で表示

	調査年月	公開(更新)日	形式
教育	2015年	2016-12-16	CSV DB
人口	2015年	2016-12-16	CSV DB
教育及人口	2015年	2016-10-26	CSV DB
教育及人口	2015年		CSV DB
※	2015年	2016-12-16	CSV DB
※	2015年	2016-12-16	CSV DB

e-Statの主な機能③ 都道府県・市区町村のすがた

人口・世帯、自然環境、経済基盤、行政基盤、教育、労働、居住、健康・医療、福祉・社会保障など 国民生活全般の実態を示す地域別統計データを収集・加工し、これを体系的に編成し整備



e-Statの主な機能④ jSTAT MAP

e-Stat
政府統計の総合窓口

統計で見る日本

e-Statは、日本の統計が閲覧できる政府統計ポータルサイトです

お問い合わせ | ヘルプ | English



検索

統計データを探す

地図で見る

統計分類・調査項目

その他

統計データを探す



データベースから探す



ファイルから探す



分野から探す



組織から探す

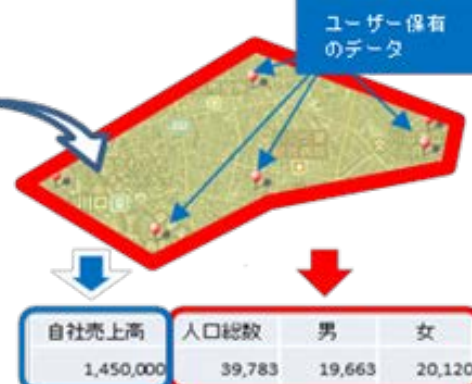


地域から探す

統計GIS

API機能

統計LOD



任意に指定したエリアにおいて、ユーザが保有する各種データを取り込んだり、統計データを利用したりすることが可能

選択したエリアについて年齢構成等の基本的な分析結果をレポートとして作成

e-Statの主な機能～③地図で見る統計（jSTAT MAP）

- 都道府県や市区町村別の各統計データを一覧でみることも可

The image shows the e-Stat website interface. At the top, the e-Stat logo and navigation links are visible. A red box highlights the '統計GIS' (Statistical GIS) link in the '統計データを探す' (Find Statistical Data) section. A red arrow points from this link to the jSTAT MAP interface, which displays a map of Japan with statistical data overlays. The jSTAT MAP interface includes a legend for '2015年 国勢調査 小地域（町丁・字等別）' (2015 Census Small Area (Municipalities, Towns, and Villages)) and a '統計地図作成' (Create Statistical Map) button.

e-Stat 統計で見る日本
政府統計の総合窓口

お問い合わせ | ヘルプ | English

統計データを探す 地図で見る 統計分類・調査項目 その他

統計データを探す

データベースから探す
地図で見る統計(統計GIS)

ファイルから探す

各種統計データを地図上に表示し、視覚的に統計を把握できる地理情報システム

キーワード
「お知らせ」
1月22日 境界データダウンロードの提供を再開しました。

> 地図で見る統計 (jSTAT MAP)

地図で見る統計 (jSTAT MAP) は、誰でも使える地理情報システムです。

統計地図を作成する他に、利用者のニーズに沿った地域分析が可能となるような防災、施設整備、市場分析等、各種の詳細な計画立案に資する基本的な分析が簡単に

※地図で見る統計 (jSTAT MAP) 起動時にエラーとなる場合は、ブラウザの閲覧履歴を削除してください。

> 統計データダウンロード

地図で見る統計 (jSTAT MAP) に登録されている統計データをダウンロードすることにより、境界データと結合できるコード (KEY_CODE) を追加しています。

> 境界データダウンロード

統計GIS

住所、施設、郵便番号、緯度経度を入力してください

計画 サブ地図 案内図 地形図 航空写真 再読み込み 検索履歴 印刷

2015年 国勢調査 小地域（町丁・字等別）

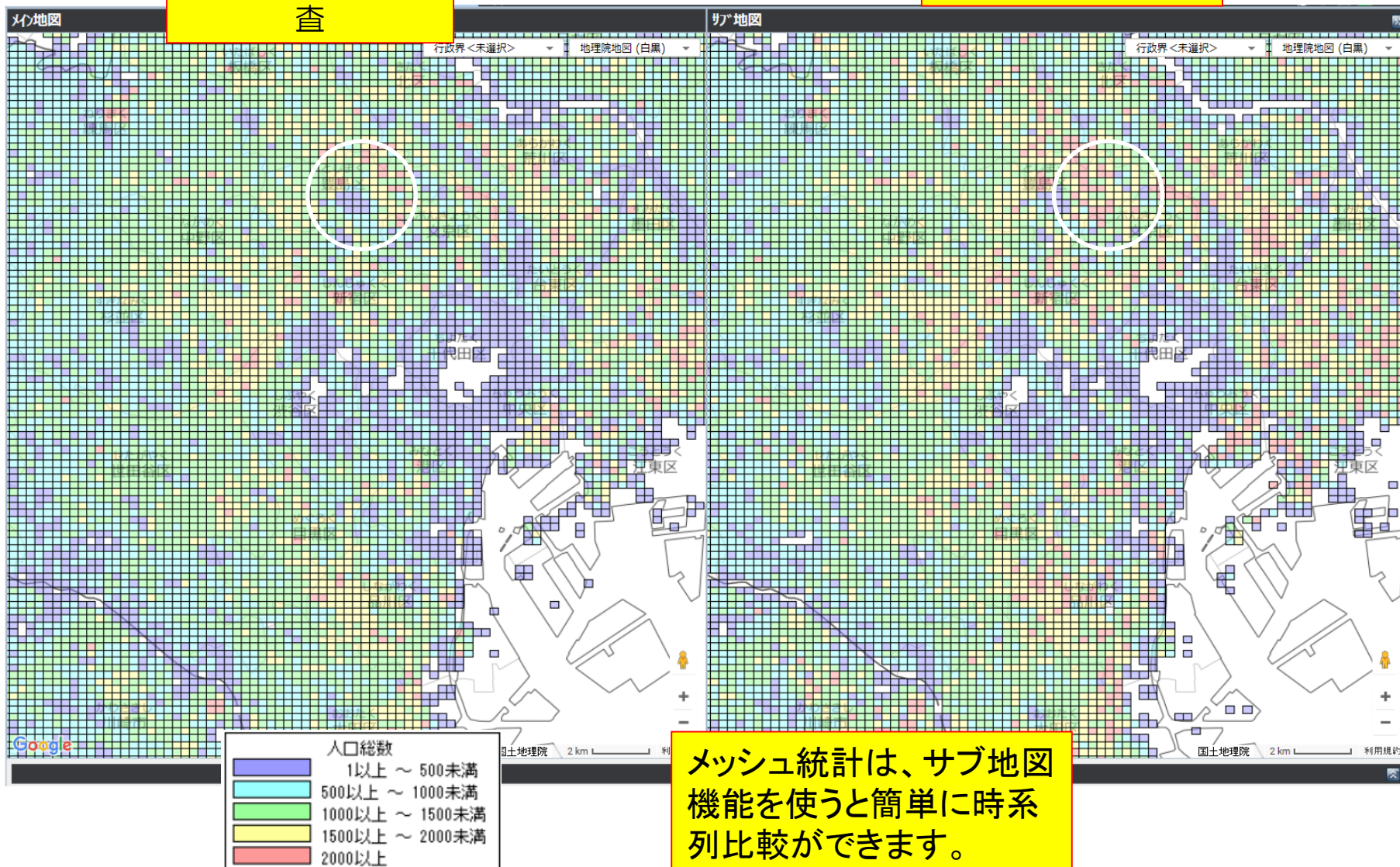
- 総数75歳以上
- 0歳以上～74歳未満
- 75歳以上～194歳未満
- 194歳以上～330歳未満
- 330歳以上～462歳未満
- 462歳以上

統計地図作成

jSTAT MAP メッシュによる時系列分析-250mメッシュ

平成17年国勢調査

平成27年国勢調査



児童を対象とした統計教育（子どもプログラミング教室）

【統計局開催】



1. 概要

円の大きさの異なるコマを使った実験から得られたデータを、プログラミングソフト「Scratch」を使用し、集計及びグラフ化するプログラミングを実施。

グラフから分かることを読み取り、円の大きさによってどのような違いがあるのかを考えることを通じて、重心等の物理学やデータの活用について学ぶ。

（講師：株式会社ヴィリング）

2. 日時

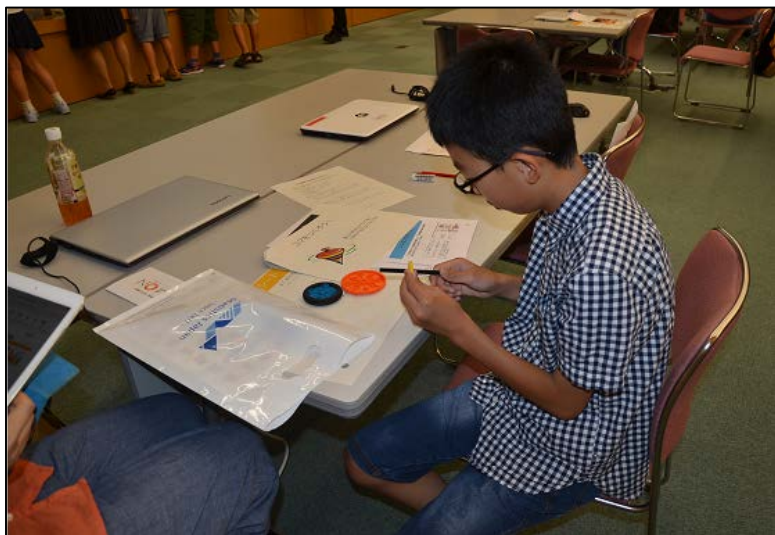
7月26日（水）13:30～16:30

3. 場所

総務省統計局（総務省第2庁舎：東京都新宿区若松町19番1号）

4. 参加者

小学校5～6年生とその保護者 約30組



どのパーツをどのように組み合わせると重心の安定した良く回るコマになるのか試行錯誤



「Scratch」を使い、コマが回った時間を計測して、その時間の長さを線であらわすプログラムを作成。実際に自分で作ったコマを回して時間を計測

児童を対象とした統計教育（子どもプログラミング教室）

【地方都市開催】



実施主体

地方都市でも子ども達に統計に親しみをもってもらうために、平成28年度から都道府県等との共催で地方都市でも開催。30年度は更に開催都市を拡大する方向で検討中。

統計局

- ・ 外部事業者への委託
- ・ 事業者と都道府県の調整

都道府県等

- ・ 会場確保
- ・ 参加者募集
- ・ 当日の運営

協力

委託

外部事業者

- ・ 講義内容の企画
- ・ パソコン等機器準備
- ・ 当日の講師等派遣

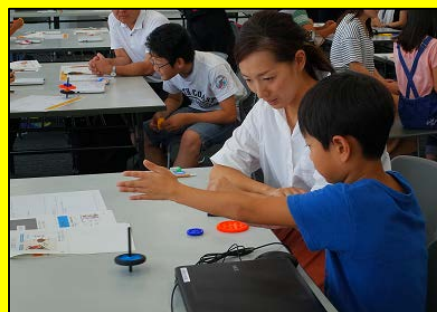
※ 統計局開催と同じ
事業者に委託

プログラミング教室 地方都市開催

【開催地】 平成28年度：滋賀大学

平成29年度：和歌山県、滋賀大学、静岡県

【参加者】 小学校5～6年生とその保護者約20組



3.教育現場で役立つ情報(6)

第67回全国統計大会(平成29年11月13日開催) 昭和25年度～

【表彰式】

- ・地方公共団体における統計利活用表彰
- ・「統計調査功績者」各省大臣表彰
- ・統計グラフ全国コンクール入賞者表彰
- ・大内賞授与
- ・「統計の日」標語入選者表彰

【統計・データサイエンス活用セミナー】

＜受賞者によるプレゼンテーション＞

- ・地方公共団体における統計利活用表彰受賞団体

総務大臣賞 静岡県健康福祉部こども未来局こども未来課

総務省統計局長賞 豊島区都市整備部都市計画課

- ・グラフコンクール大臣賞受賞者

総務大臣賞 福永 嘉恩さん(大阪府吹田市 中学3年)

文部科学大臣賞 三宅 麗さん(兵庫県神戸市 中学3年)

※ 総務省ホームページに掲載しており、セミナーの様子は動画でご覧になれます。
http://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/info/guide/02toukatsu01_04000205.html

3.教育現場で役立つ情報(7)

－ 統計グラフ全国コンクール(昭和28年～)－

- 統計グラフの作成を通じて、日常生活の中で統計を利用することの有用性を知っていただくとともに、統計調査への理解を増進

主催：(公財)統計情報研究開発センター、総務省

後援：文部科学省、全国統計教育研究協議会、日本放送協会、
(一社)日本統計学会、(一社)日本品質管理学会

- 65回目に当たる平成29年度は、全国から2万6,774作品の応募

平成24年度	23,879作品	平成27年度	26,548作品
平成25年度	25,852	平成28年度	26,284
平成26年度	25,094	平成29年度	26,774

3.教育現場で役立つ情報(8)

- 統計グラフ全国コンクール -

【応募資格】

第1部（小学校1年生・2年生の児童）

第2部（小学校3年生・4年生の児童）

第3部（小学校5年生・6年生の児童）

第4部（中学校の生徒）

第5部（高等学校以上の生徒・学生、一般）

PCの部（小学校の児童以上）

児童が自分で観察又は調査した結果をグラフにしたもの

自分で観察又は調査した結果や各種の統計資料を選択してグラフにまとめたもの

自分で観察した結果や各種の統計資料を整理し、わかりやすいグラフ構成とほどよい配色で、効果的にまとめられた作品が数多く出展

統計思考力を
評価する一つ
の方法として

応募をお待ちしています！

統計グラフコンクール 平成29年度入賞作品

総務大臣賞(中学生の部)

大阪府吹田市立 千里丘中学校3年 福永 嘉恩 さん

高齢社会を迎えた日本にとって、社会福祉の在り方を考えるときに、互いに助け合う互助(ごじょ)のシステムは欠かせません。中学生の作者は、テレビ番組で言われていることと、身の回りの現実とのギャップから素朴な疑問を感じ、世界にあって日本で進んでいない互助に対して、寄付の観点で公的統計・民間統計を活用しその実態をまとめました。まずは、自分ができることから始めようという提案も頼もしく、総務大臣賞の受賞にふさわしい優れた作品です。個々の統計グラフの読み取りも、しっかりしています。受賞、おめでとうございます。

コメント 統計グラフ全国コンクール審査委員長
慶應義塾大学大学院 渡辺教授

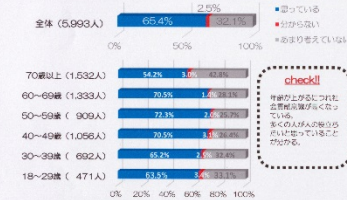
私に出来る社会貢献

【動機】

8月下旬になると毎年テレビでチャリティー番組がやっている。今年も民山の募金(寄付)が募まっていた。私も少額の募金をお金を入れたという好奇心で募金をした。
しかし最近募金したのはいつだろうか？
それに私の募りで募金したという話は耳にしない。
テレビの裏と現実が違っている。
実際はどうなのか？調査してみようとした。

◆社会への貢献意識

①あなたは、日頃、社会の一員として、何かに社会のために役立ちたいと思っているか。

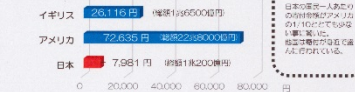


◆世界における日本の価値づけ

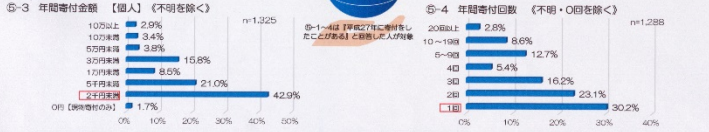
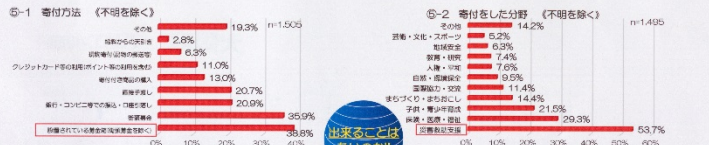
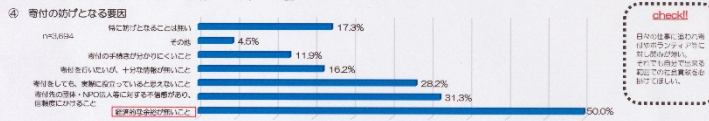
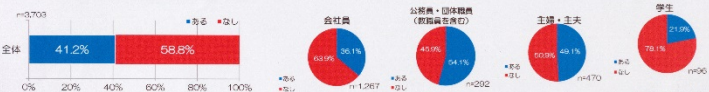
②-1 世界寄付指数ランキング



②-2 国民一人あたりの寄付金額【年額】



◆社会貢献における寄付の現状と意識



【感想】
今回調査を行い、多くの人が人の役に立ちたいと思っていることが分かった。
しかし実際に寄付を出していない人が大半だった。世界をみても人助けに行っている。
今回は主に寄付について調査したが、これを見てもいかに寄付の意識が低いことが分かった。
意識の向上が必要だと感じた。まずは私も、募金に行ってみよう。

総務大臣賞

統計グラフコンクール 平成29年度入賞作品

文部科学大臣賞(中学生の部)

兵庫県神戸市立
友が丘中学校3年 三宅 麗さん

外来生物への意識と被害の実態を、身近な中学生へのアンケート調査や、公開されている統計資料からまとめています。外来生物のイラストを交え、迫力のあるインフォグラフィックスの技術を多用し、知ってはいるけど関心がないでは済まされないことを、独自の『被害予防3原則』の提案とともに展開したことが高く評価されました。主張に至るまでの展開に説得力があります。文科大臣賞にふさわしい優れた作品です。おめでとうございます。

コメント 統計グラフ全国コンクール審査委員長
慶應義塾大学大学院 渡辺教授



文部科学大臣賞

3.教育現場で役立つ情報(9)

統計資料館

—日本の統計、その歴史に触れる—

- 統計資料館は、広く統計への関心を深め、統計調査に対する国民の一層の理解増進を目的として、統計局創設120年を記念し、平成3年10月(1991年)に開設した広報展示施設
- 統計の歴史から、来館者が見て、聞いて、国家運営にとって、統計の重要性を感じ、統計調査に協力することの大切さを実感して、統計調査実施を取り巻く厳しい環境を改善



展示内容(1)

- 明治初期からの統計に関する貴重な文献や第 1 回国勢調査の記録資料・用品をはじめ、我が国初の統計集計機である「川口式電気集計機」と同機の入力用カードを作成する「亀の子型穿孔機」などの貴重な集計機器を展示
- その他、統計調査の歴史や仕組みなどを展示品やパネル等を用いて、5つのコーナーに分けて、分かりやすく紹介

展示内容(2)

①「統計のはなし」

統計調査の起源から現在の統計の利活用までを解説

<主なもの>

- ・ 統計の意義と役割、統計の発展に尽力した偉人の紹介
- ・ 近代統計調査のはじまり、日本の統計制度

②「古資料にみる統計の歩み」

明治初期から貴重な文献などを展示

<主なもの>

- ・ 辛未政表（明治 5 年(1872年) 日本最古の総合統計書）
- ・ 二府五十四縣物産（明治 6 年(1873年) 日本で最初の生産統計）
- ・ 第 1 回国勢調査 資料(大正 9 年(1920年))

展示内容(3)

③「機器にみる統計の歩み」

貴重な集計機器などを展示

<主なもの>

- ・ 川口式電気集計機(明治38年(1905年))

※ 情報処理技術遺産(2009年 (社)情報処理学会が認定)

④「統計調査」

統計調査結果を基に作成した統計グラフなどを展示

<主なもの>

- ・ 総務省統計局が実施している調査に関する資料(労働力調査、家計調査 など)

⑤「統計の国際交流」

外国の国勢調査関係用品やポスターなどを展示

<主なもの>

- ・ エジプト、オーストラリア、アメリカ、中国、韓国

利用について

(1) 開館時間及び休館日

開館時間：9時30分～17時00分

休館日：土、日曜日、国民の祝日・休日及び年末・年始

所在地 〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1 総務省第2庁舎敷地内

統計資料館ホームページ <http://www.stat.go.jp/library/shiryo.htm>

(2) 入館者数

<実績> 累計 約 58,000人(平成30年3月 現在)

平成28年度 1,488人 平成27年度 1,909人 平成26年度1,860人

入館者：大学生、研究者、統計調査員、諸外国の統計関係者

※ 小学校、高等学校、大学からの団体見学もあり(平成28,29年度実績)



明治150年

～明治の精神に学び、更に飛躍する国へ～

各府省庁が連携する取組

- ・平成30年（2018年）は、明治元年（1868年）から起算して満150年
- ・この「明治150年」をきっかけとして、明治以降の歩みを次世代に遺す、明治の精神に学び日本の強みを再認識
- ・政府において、こうした基本的な考え方を踏まえ、「明治150年」に関連する施策に積極的に取り組む

統計局における取組

【目的】

- ・明治期における政府統計への取り組み実績を広く国民一般に周知し、
- ・今日の統計の礎を築いた明治時代の功績を「知って、見て、統計の歴史を直に感じる」ことにより、統計の重要性を伝える。

【実施時期】

- ・平成30年統計の日（10/18）からを予定

古書のデジタルアーカイブ化

- 統計図書館所蔵の統計関連の明治期の主な古書等について、デジタル化を実施予定。



にほんせいひょう

【日本政表等】



かいのくにげんざいにんべつしらべ

【甲斐國現在人別調】

我が国最初の総合統計書。明治5年に「辛未政表（しんぴせいひょう）」（明治4年分）として刊行。

人口センサスの試験調査として、明治12年に甲斐国（山梨県）で行った人口調査の結果。

インターネットによる公開

- 統計図書館が所蔵する明治期の統計に関する主な古書等について、統計図書館ホームページに特設ページを開設予定。
- 「明治150年」ポータルサイトにリンクして広く発信。

特別企画展の開催

- 統計資料館において、我が国の近代統計の礎を築いた先人の偉業に関する資料を展示予定。



杉 亨二

（初代統計局長）



大隈 重信

（統計院の設立を建議）

※画像は国立国会図書館ウェブサイトより転載

- 明治期からの古資料ほかを展示予定。

- ・女性の躍進する姿（昭和初期の製表作業）等



高速度群穿孔機を操作する女性職員



複式自動分類機を操作する女性職員

3.教育現場で役立つ情報(10)

都道府県における統計教育への取組

➤ 出前授業

統計主管課の職員が学校へ出向き、わかりやすいグラフや図などにより解説

➤ 学習サイトの開設

青森県、宮城県、茨城県、栃木県、埼玉県、千葉県、東京都、新潟県、山梨県、岐阜県、静岡県、京都府、大阪府、岡山県、広島県、山口県、高知県、佐賀県、長崎県

総務省統計局ホームページ「統計学習サイト」の「都道府県における取組」
に取組一覧を掲載

等

3.教育現場で役立つ情報(11)

「統計の日」(10/18)を中心とした統計の普及活動

「統計の日」とは、統計の重要性に対する国民一般の関心と理解を深め、統計調査に対する国民のより一層の協力を推進するため、「統計の日」を設ける。

(昭和48年7月3日 閣議了解)

- 「統計の日」標語募集(2月～3月)及びポスターの作成・配布
毎年度標語を募集、全国の小・中・高等学校などへポスターを配布し掲示(約87,000枚)
- 統計グラフコンクール
統計の普及と統計の表現技術の研さんを図る
主催:シンフォニカ、総務省、都道府県
- 統計データ・グラフフェア
統計グラフコンクール入賞作品の展示、統計教育紹介コーナーの設置 等
平成28年10月15日(土)～10月16日(日) 新宿駅西口広場
- 全国統計大会、統計・データサイエンス活用セミナー
国、地方公共団体、関係団体等の統計関係者が一堂に会し、統計の普及啓発
開催時期:例年11月頃開催、会場:東京代々木、国立オリンピック記念青少年総合センター
- 地方統計大会
全国の都道府県で開催(例年11月～) 等

すぐに役立つ便利情報

①統計データが欲しい時は・・・こちら

■「政府統計の総合窓口（e-Stat）」

<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do>

②データサイエンスを身に付けたい時・・・こちらから

■中学生のための統計活用～基礎編～（平成28年5月刊行）

http://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/index/seido/stkankyo.htm

■データサイエンス・オンライン講座「社会人のためのデータサイエンス入門」 データ分析の基本的な知識をまなべる

<http://gacco.org/stat-japan/>

■初めて学ぶ統計

統計の見方使い方について、体系的に学習できる講座

<https://www.youtube.com/c/stat-japan>

■なるほど統計学園高等部

統計をわかりやすく学べる高校生用サイト

<http://www.stat.go.jp/koukou/index.htm>

■なるほど統計学園

統計を学ぼう、知ろう、楽しもう、小学校高学年から中学生向け学習サイト

<http://www.stat.go.jp/naruhodo/index.htm>

おわりに

総務省では、

- 学習サイトや教材の提供
- 統計指導者講習会の開催
- 「統計の日(10/18)を中心とした統計の普及啓発活動
「全国統計大会 統計・データサイエンス活用セミナー」の開催
- 統計グラフ全国コンクールの実施
- 子どもプログラミング教室の開催 等

統計リテラシー向上の取組を進めています。

ビックデータやオープンデータの活用が今後のイノベーションの鍵を握るといわれる中、データサイエンスの基本となる統計的な考え方を、子供の頃から身に付けることは日本の将来のためにも重要なことだと考えています。今後も重要性が増す統計リテラシー向上への取組を推進してまいりますので、教材や学習サイト等ご活用いただければ幸いです。

連絡先 (指導者講習会、教材開発、統計グラフコンクール、全国統計大会 関係)

総務省政策統括官(統計基準担当)付 統計企画管理官室 普及指導担当 まで

TEL 03-5273-1144 e-mail: s-shidou@soumu.go.jp

統計局

検索

(学習サイト、ダッシュボード、e-Stat、子どもプログラミング教室 関係)

総務省統計局統計利用推進課 統計情報戦略担当 まで

TEL 03-5273-1023 e-mail: y-senryaku@soumu.go.jp